

様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
にかほ市地域	にかほ市	平成29年4月1日～令和4年3月31日	平成29年4月1日～令和4年3月31日

1. 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/ 目標	
排出量	事業系 総排出量	2,469 t	2,185 t	2,201 t	94.8 %
	1事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1人当たりの排出量	233 Kg/人	226 Kg/人	246 Kg/人	△186.7 %
合計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%	
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	1,142 t	1,480 t	1,131 t	20.4 %
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	1,897 t	1,177 t	1,599 t	23.1 %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績/ 目標	
総人口	人	人	人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	人	人	人	%
	汚水衛生処理率または汚水処理人口普及率	%	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	人	人	人	%
	汚水衛生処理率または汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	人	人	人	%
	汚水衛生処理率または汚水処理人口普及率	%	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	人	人	人	%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

○排出量

事業系排出量については、最終処分場で安定物の屋根瓦の受入を許可しているため(令和4年度搬入量649t)目標を超過している。空き家対策で税制改定及び危険家屋の解体等が進んだことにより増加していると思われる。

生活系総排出量については、目標を達成しているが一人当たりの排出量では目標を下回った。予測よりも人口減少の加速度が早く、排出量は減っているが、新施設の料金が安価に設定されているため、人口減少に伴って家財道具等の粗大ごみの搬入が増えていると思われる。

○再生利用量

目標を達成できなかった数値となっているが、要因としては以下のとおりである。

- ①資源ごみの分別徹底を進めたことにより排出抑制に関する意識も向上により資源ごみ自体の排出量が減少したこと。
- ②民間事業者(スーパー等)の資源物回収BOXの設置が進み民間のリサイクル量が増加したことで行政回収量が減少したこと。

上記要因によるにかほ市の収集量の予測と実績は右記のとおりであり、社会情勢の変化や平成27年度と比べて、市民意識が格段に向上し、新たに民間リサイクル化が充実したことを勘案すると再生利用化は目標通りに進んだものと考えられる。

	不燃ごみ	カン	ビン	ペットボトル	古紙	計
予測数量	349t	75t	171t	57t	845t	1497t
実績数量	257t	73t	156t	75t	632t	1193t
リサイクル量	226t	65t	144t	66t	630t	1131t
リサイクル率	87.9%	89.0%	92.3%	88.0%	99.7%	94.8%

○最終処分量

最終処分場の埋立量については、直接搬入の埋立量が738tあり、新施設に搬入され、破碎後資源物を取り除いたものと、焼却灰の合計で1,599tとなっている。排出量の増加が埋立量増加の要因と思われる。

目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和10年度まで(一般廃棄物処理基本計画中間目標年度)

【ごみ処理】

目標未達成となった指標を含めすべての指標で目標達成となるよう、広報等を活用したPR、施設見学会、出前講座でのごみの現状、リサイクルの推進を紹介し循環型社会の推進を図る。これまで続けている施策は継続しながら、新たな施策の検討を進める。

1人当たりの排出量の目標達成のため、住民に対してごみの排出抑制、再生利用の意識及び効果、ごみ排出方法に関する啓発を積極的に行い、住民が自主的に、かつ積極的に取り組めるよう、ごみ減量化・資源化の体制づくりを行い、リサイクルシステムが円滑に機能するよう体系を確立する。

再生利用量、最終処分量の目標達成のため、民間事業者へのアンケートを実施して再生利用量の実数を調査し、にかほ市全体の再生利用量を把握したうえで、新たな再生利用品目の検討を行い再生利用量の増加、最終処分量の減少を図る。

(都道府県知事の所見)

事業系の総排出量については、危険家屋等の解体が進み排出量が増加したことが影響し目標未達成となっている。生活系の1人当たりの排出量についても、人口減少に伴って家財道具等の粗大ごみの搬入が増えているため目標未達成となっている。

改善計画書に示す広報等を活用したPR・施設見学会・出前講座等の取組により、目標を達成するよう努めていただきたい。